



慶應義塾大学ビジネス・スクール

NPO 法人「ほっこり掘り炬燵」

5

「ほっこり掘り炬燵」はもともと地域の独居老人に交流の場を提供しようとして5年前に設立された。

京都府下にある人口6万のこの地方都市でも過疎化が進んでおり、過去10年間に人口は20%減少、さらに減少の傾向にある。65歳以上の人口比率も30%に達している。

かつては大きな家電メーカーの工場があり、町の人口の10%近くが雇用されていたが、海外への工場移転のため、閉鎖され、町の働き手は京都市や関西の都市に仕事を求めて出て行った。ただ近年になってこの町が、比較的京都市に近いこと、地価がまだ安いこと、緑が多い環境が残っていることなどが見直されて、京都市のベッドタウンとして人気が出てくる気配があり、市当局はこの際まちおこしをしてなお一層市の魅力を高めたいと、行政、商工会、NPOなどが合同でプロジェクトチームを立ち上げている。

特に若い世帯の人たちが子育てをするのに良い環境であることを売り込みたいと思っており、プロジェクトチームにとっても課題の一つである。

20

しかし20年前くらいまでは3世代が同居して、老人も家族によって面倒を見てもらうことが可能であったが、若い人たちが少なくなったこともあって、取り残された独居老人がますます増加する傾向にあるのも事実である。

独居老人は、さまざまな困難な条件のなかで暮らしている。食事、買物、洗濯など生活面の問題も大きい、独居であるために来る孤独感が老人を襲っており、そのために自殺する人も増加することが懸念される。

本ケースは、慶應義塾大学大学院経営管理研究科特別研究教授 網野俊賢がクラス討論のために作成した。

本ケースは慶應義塾大学ビジネス・スクールが出版するものであり、複製等についての問い合わせ先は慶應義塾大学ビジネス・スクール（〒223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉4丁目1番1号、電話045-564-2444、e-mail: case@kbs.keio.ac.jp）。また、注文は<http://www.kbs.keio.ac.jp/>へ。慶應義塾大学ビジネス・スクールの許可を得ずに、いかなる部分の複製、検索システムへの取り込み、スプレッドシートでの利用、またいかなる方法（電子的、機械的、写真複写、録音・録画、その他種類を問わない）による伝送も、これを禁ずる。

30

Copyright© 網野俊賢 (2010年1月作成)